

# 訪ねてガッテン!! 出雲の歴史



ひのみさきじんじゃ

## 第13回 日御碕神社 (国重要文化財)

もっと知ってほしい、私たちの暮らす出雲の歴史。隔月で連載する「訪ねてガッテン!! 出雲の歴史」のコーナーでは、市内の遺跡などを巡り、古代ロマンあふれる出雲の魅力を紹介しています。第13回目は、日御碕神社です。



日御碕神社神の宮

大社町日御碕にある日御碕神社はひしずみのみや日沉宮(下の宮)と神の宮(上の宮)

から成る両本社を総称したもので、古い呼び名では『出雲国風土記』に美佐伎社、『延喜式』に御碕社とあり、現在は地元の人々から「みさきさん」とも呼ばれています。

社伝によれば、神の宮はもと背後の隠ヶ丘にあったのを安寧天皇の13年に、また日沉宮は経島にあったものを天曆2年(948)に勅命により現在地に遷したと伝えられています。

現在の社殿は、徳川家光の命により松江藩主・京極忠高が寛永11年(1634)に着手し、同21年(1644)松平直政の代に至って完成したものです。両宮とも平入りの本殿が幣殿をとおして拝殿と続き、日光東照宮を模した権現造りになっており、これを中心に楼門、回廊、禊所、宝庫、門客人社など14棟の建物が配置されています。これらの社殿や鳥居、灯籠は国の重要文化財に指定されています。

朱塗が特徴的な社殿も老朽化のため平成14年から保存修理工事が実施され、平成18年には再び鮮やかな朱塗の建物が蘇りました。

神社には源頼朝が寄進したと伝えられる国宝の「白糸威鎧」や、国指定重要文化財の「藍草威腹巻」があります。

また、ウミネコが神社の欄干に海草を三度くわえてきたのを神前に供えたのに始まるという和布刈神事(旧正月5日)も古式ゆかく行われています。

史上初! 初公開を含む大社15地区23本もの吉兆幡が一堂に会します!

### 『お正月の特集展』歳徳神を招く 吉兆幡勢揃い

'09年12月22日(火) - '10年1月17日(日)

※常設展観覧料でご覧いただけます。 お問合せ/古代出雲歴史博物館 TEL.0853-53-8600

古代出雲歴史博物館からのお知らせ

博物館の  
新年まつり'10『寅』  
正月1日~3日開催  
10:00~16:00

年末年始も休まず  
開館しています。

## 広報いずも 第114号

編集: 広報情報課  
〒693-8530 出雲市今市町70  
TEL(0853)21-8578・FAX(0853)21-6509  
Mail: kouhou@city.izumo.shimane.jp  
出雲市のホームページ  
<http://www.city.izumo.shimane.jp/>

毎月第2・4木曜日発行  
(発行日の一部変更する月があります)  
発行日: 平成21年(2009)12月10日  
発行: 出雲市

市政や広報へのご意見・ご質問は  
広報情報課または各支所の地域振興課へ

平田支所 TEL63-3111 湖陵支所 TEL43-1212  
佐田支所 TEL84-0111 大社支所 TEL53-4444  
多伎支所 TEL86-3111

市民税(第4期)  
国民健康保険料(第7期)  
後期高齢者医療保険料(第7期)  
の納期は

**1月18日(月)~  
2月1日(月)です。**

期限までに忘れず納めましょう  
●市民税課(TEL21-6703)●